

茨城県下 No.1の 警備会社を目指して

新安全警備保障株式会社
代表取締役執行役員社長

眞壁 純夫



2016年で5カ年計画『DYNAMIC25 計画』は、売上・営業利益とも目標を達成し、終了することができました。これも全社員一丸となって、CSスローガン『サービスが先・利益が後』の精神のもと『全員攻撃・全員守備』で取り組んだ成果だと思います。改めて感謝申し上げます。

今後、2019年の茨城国体や2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を背景に、景気も緩やかに回復していくことが期待されます。

しかしながら、少子高齢化や労働力の東京一極集中化による労働力不足、更には業界内での激しい競争もあり、依然として厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような背景のもと、当社の親会社であるCSPセントラル警備保障様は10年先を見据えつつ、東京オリンピック・パラリンピックが開催される4カ年の中期経営計画『CSPパワフル2020計画』を策定し、グループ会社を挙げて大きな目標にチャレンジすることになりました。

CSPグループ会社である当社も『チャレンジトリプル3計画』を策定し、全社員一丸となって取り組むこととしました。

5年後の2021年には売上高30億円、営業利益3億円（利益率10%）株主配当30%を目指す計画です。この三つの3に挑戦することにちなんで名称を『チャレンジトリプル3計画』と決めました。

高い目標設定ですが『渾然たる融和』の協調と融和の精神をもって、個性や価値観の多様性を認め合い、一人ひとりの力を結集して、組織力や生産性を高め『チャレンジトリプル3計画』を達成させましょう。

そして、全社員の皆さんが『知名度、CSにおいて茨城県下No.1の警備会社にする』という高い志に向かって、積極的に取り組み『努力が報われる夢のある魅力的な会社』にしようではありませんか。